

|                         |   |  |   |
|-------------------------|---|--|---|
| <p>本年度の<br/>重点目標</p>    | <p>1 新カリキュラム編成を通して、学習指導方法の工夫改善に努め、生徒の学力の伸長を図る。<br/>2 生徒の可能性を引き出した進路目標を設定させ、その実現に努める。<br/>3 日常のあらゆる教育活動を通して、生徒に責任と義務を自覚させ、規範意識を高め、命と人権を重んじる心を育成する。<br/>4 ホームルーム活動や特別活動、学校行事等を通して、豊かな心と活力ある生徒を育成する。<br/>5 安全で安心できる学習環境の整備に努める。<br/>6 会議の精選など業務改善を図り、効率的な学校運営に努める。</p> |  |   |
| <p>項目 (担当)</p>          | <p>重点目標</p>   | <p>具体的方策</p>   | <p>評価結果と課題</p>  |
| <p>学校総務<br/>(総務部)</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厳粛な式典の定着</li> <li>・ PTA関連行事への参加促進</li> <li>・ 学習環境の整備</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な助言をすることで、生徒自らが考えて短時間で整理し、話に集中できるようにする。身だしなみを整えさせる。</li> <li>・ 保護者や教職員の意見を参考にして行事の内容や実施時期を検討し、参加しやすくする。PTAのホームページを充実させる。</li> <li>・ 生徒の机や椅子の更新、カーテンの洗濯を継続して行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落ち着いた雰囲気の中で式典を実施することができた。今後も生徒が自分で考えて式典に臨むことができるように、適切な助言をしていきたい。</li> <li>・ PTA行事への参加者が、クラス委員に偏りがちであった。一般の保護者委員の参加を増やす方法を考えたい。</li> <li>・ 計画的に教室の机、椅子の更新を行った。机と椅子は特別教室でも使われているので、必要があれば更新したい。</li> </ul>  |
| <p>学習指導<br/>(教務部)</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新カリキュラム編成を通して、学習指導方法の工夫改善</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新カリキュラム編成を通して、学習指導方法の工夫改善に努め、生徒の学力の伸長を図る。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問いを考える授業展開を各教科・各学年で模索し、実施してきた。この反省を受けて来年度は評価を意識しながら、さらに授業改善を推し進めたい。</li> </ul>   |
| <p>生徒指導<br/>(生徒指導部)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣の確立</li> <li>・ いじめの未然防止と早期発見</li> <li>・ 身だしなみ指導</li> <li>・ 交通安全指導</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎朝の立番と登校指導を通して、声を出して挨拶する習慣を身に付けさせる。特に、8時30分を越えて正門を通る生徒に積極的に声を掛ける。</li> <li>・ 遅刻入室カードを職員室に常駐させ、多くの教職員で指導し、規則正しい生活習慣を身に付け、主体的に充実した学校生活を送ることができるよう啓発する。</li> <li>・ 毎朝の立番と登校指導を通して、声を出して挨拶する習慣を身に付けさせる。</li> <li>・ いじめ防止基本方針に基づいて、学校生活実態調査や面談を実施するなど、兆候を見逃さず、安全安心な学校生活を送れるようにする。</li> <li>・ 身だしなみ週間及び身だしなみ指導を通して、正しい着こなしを促しながら、学校生活と私生活のけじめをつけさせる。</li> <li>・ 式典や集会などで身だしなみ指導を実施することを通して、TPOを踏まえさせ、よりよい集団の雰囲気をつくる。</li> <li>・ 毎朝の立番と登校指導を通して交通安全を啓発する。</li> <li>・ 熱田警察署及び地域住民と連携して交通安全講話を実施し、交通ルールを確認させ交通安全意識を高める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度と比べて遅刻数が大きく減少している。各学年との協力による5分前入室の効果が出た。</li> <li>・ 遅刻指導を複数名で協力して行うようになり、状況の共通把握ができるようになった。</li> <li>・ 登校時だけでなく、日常的に声を出して挨拶する生徒が増えてきた。</li> <li>・ 各学年と連携を取った対応ができた。問題が起きた時に、学年主任が中心となり組織的に問題解決に向けて取り組むことができた。</li> <li>・ 身だしなみの徹底は難しい。呼びかけ指導を積極的に行い、気付く生徒を増やしていきたい。より多くの教員で声をかけることが必要である。</li> <li>・ 総務部と連携して式典や全校集会をスムーズに進めることができた。特に開始時に落ち着いた雰囲気を作ることができている。</li> <li>・ 交通講話について、外部講師ではなく生徒指導部で担当した。通学路の危険箇所を提示しながら、日常的な交通マナーに関して注意喚起できたことは良かった。日常の声掛けと合わせて継続していこうと思う。</li> </ul> |

|                       | 重点目標  | 具体的方策   | 評価結果と課題   |
|-----------------------|---|---|---|
| 生徒指導<br>(生徒指導部)       |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自転車無事故無違反ラリー」へ参加することを通して交通安全意識を高める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の交通トラブルなども含めて、熱田警察と協力し、情報を提供しながら進めていきたい。</li> </ul>   |
|                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・盗難防止</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重品管理を徹底させ、安心な環境をつくる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッカーの施錠を徹底させていくなど、防犯上の注意喚起を徹底したい。</li> </ul>  |
| 図書文化<br>活動<br>(図書文化部) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒にとって利用しやすい図書館運営を目指すとともに、司書不在の図書館であっても、円滑に図書館の業務が行なわれるよう努力する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・司書が不在の図書館だが、教員と図書文化委員で協力して、図書館開館時間にきちんと開館できるように努める。</li> <li>・生徒が親しみをもって図書館を利用することができるよう、館内ディスプレイや本の配置を工夫する。</li> <li>・生徒の図書館への関心を高め、読書への意欲を高めるため、『図書館だより』や『図書館報』等を通しての広報活動、「図書館まつり」等の図書館行事を行う。また、各教科との連携を図る。</li> <li>・利用状況の分析や生徒からの聞き取りを通し、生徒の読書傾向を把握し、より多くの生徒の利用を促せるような蔵書を充実させる。</li> <li>・本の紹介、多読指導等、生徒への具体的な読書指導に努める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館開館時間にきちんと開館できた。</li> <li>・環境整備に留意し、生徒が落ち着いて学習できる環境を保つことができた。今年度は、昼休みの開館時に3年生が多数学習していた。</li> <li>・図書選定に関しては、図書選定委員会を予定どおり開催し、様々なジャンルから適切な選定ができた。</li> <li>・生徒の読書への関心を高めるため、『図書館だより』を生徒全員に配付し、定期的に発行した。また、図書館行事としては、例年どおり図書館まつりを行い、「熱田高校OGと語る会(熱田空襲について)」、「POP募集」、「合唱部ミニ・コンサート」、「ESSミニ・ドラマ」、図書貸出促進のためのポイントカード制度を実施した。図書文化部以外の先生方の協力もあり、行事への参加者は例年と比べて、かなり増加した。</li> <li>・図書貸出に関しては、図書文化委員の係生徒によるコンピュータを利用した貸出業務をスムーズに行うことができた。貸出冊数は143冊程度(1/21現在)と、専任の図書館司書不在による弊害は大きく、専任の図書館司書がいた年度と比べて激減している。ただし、英語多読用図書に関しては、2年生文系の英語の授業及び3年生総合の授業の一部で、英語多読指導を行い、授業内で読ませているため、数字には表れていない利用冊数はかなり多い。また、2学期・3学期の昼休みの図書館利用者数は激増した。</li> <li>・今後一層、生徒への働きかけを強化し、図書館利用者を増やし、生徒の読書意欲を高めていくことが課題である。図書館まつり中のポイントカード制度は、貸出冊数増加に多少効果があるので、実施する機会を増やすことも検討の余地があると思われる。</li> </ul> |
| 学校保健<br>(保健部)         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の安全確保と整備</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に施設・設備の安全点検を行う。</li> <li>・必要に応じて施設・設備の修理・改善を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り安全点検を実施した。予算の都合で修理できない箇所もあるが早めに対処できるよう次年度も学期に1回は実施したい。</li> </ul>   |

| 項目 (担当)           | 重点目標   | 具体的方策  | 評価結果と課題   |
|-------------------|--|--|---|
| 学校保健<br>(保健部)     | ・校内美化の推進   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別、清掃活動を通して環境にやさしい生活を考えさせる。</li> <li>・通常清掃および年4回の大掃除を行う。</li> <li>・除草・屋外清掃を随時行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常清掃に加え、大掃除、ワックスがけを計画通り行った。</li> <li>・本年度も、期末考査最終日に落ち葉拾いと側溝清掃を実施した。次年度も継続できると良い。</li> </ul>   |
|                   | ・保健指導の充実   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の結果から、自己の健康状態を把握させる。</li> <li>・「保健だより」を発行する。</li> <li>・学校祭期間中に健康意識向上のための保健ブースを開設する。</li> <li>・保健室や廊下に、健康に関するポスターを掲示する。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断結果より受診が必要と判断した生徒に受診勧告書を配付し、早期受診を勧めた。</li> <li>・保健委員とともに保健だよりの発行や、応急手当をテーマとした学校祭保健ブースを開設し、健康意識向上に努めた。</li> <li>・次年度も保健委員とともに健康課題を見つけ、保健指導の充実に努めていく。</li> </ul>     |
|                   | ・教育相談体制の充実                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー来校時に相談委員会を開催する。</li> <li>・「相談室だより」を発行する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒だけでなく、教員や養護教諭へのカウンセリングの機会を持ち、スクールカウンセリング制度の有効活用ができた。</li> <li>・相談委員会で生徒情報の共有ができた。</li> <li>・カウンセリングの調整が課題である。</li> </ul>  |
| 進路指導<br>(進路指導部)   | ・生徒の実態と進路希望を踏まえた、3年間を見通した進路学習の充実                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スタディーサポート」を活用して、第1学年から継続して生徒の学習習慣と基礎学力の定着をはかる。</li> <li>・実力テスト、模試、「スタディーサポート」などを連動させて進路指導の資料とし、生徒が自ら学力到達度の目標を定めて主体的に学力向上を目指していけるよう進路指導体制を確立していく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタディーサポートの結果を、生徒の学習習慣の見直しやクラス面談の資料として活用した。</li> <li>・本校過年度との比較や、各教科の学習到達度などを分析し、授業や進路指導に生かすことができた。</li> </ul>   |
| 進路指導<br>(進路指導部)   | ・在り方生き方の教育の充実と進路意識啓発の進路実現への取り組みの充実               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学力向上や卒業後の生き方を念頭に置いた推薦入試の在り方を検討する。</li> <li>・第1学年から大学入試関係の講演会などを実施し、生徒の進路意識の高揚を図る。</li> <li>・キャリア教育を充実させ、インターシップなどを通して在り方生き方の教育を推進する。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全志向の高まりによって推薦入試を利用する生徒が増加した。</li> <li>・進路講演会や大学説明会、保護者説明会などを実施し、生徒と保護者への情報提供と進路意識の高揚を行った。</li> </ul>   |
| 特別活動<br>(特別活動推進部) | ・生徒会活動や学校行事を通し、生徒の自主的自律的な態度及び豊かな心を育成し、学校の活性化を図る。 | ・ホームルームと各委員会、議会、生徒会執行部が有機的な連携を図り、自主的自律的な活動が行われるよう指導する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会執行部が各自で自覚を持ち活動に取り組むことができ、各委員会も委員長を中心に前向きに活動し、自主自律的な態度を少なからず身に付けることができた。しかし、各HRや多くの生徒は生徒会活動や学校行事に対して受け身であったり自律心がなかったりと意識が低いため、学校全体で取り組んでいくという意識を持たせる必要がある。</li> </ul> |
| (第1学年)            | ・規範意識と社会性の伸張                                     | ・正しい制服着用や挨拶を意識するよう日々の学校生活の中で指導する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい制服着用を心掛けるよう指導してきたが、女子のスカートを常時正しく着用させることは困難を極めた。スカートを切っている者はいないので化粧も含め、粘り強く指導していきたい。</li> </ul>   |

| 項目 (担当)   | 重点目標   | 具体的方策  | 評価結果と課題  |
|-----------|--|--|--|
| (第1学年)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣の確立と基礎学力の定着</li> <li>・キャリア教育、進路指導による目的意識の育成</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英数国の教科担任から週課題や小テストを課し、教科担任、クラス担任、学年が連携することで、生徒の状況を把握し、取組の改善を促す。</li> <li>・LT、総合学習、学年集会、面接、模試などを通して進路に対する意識付けを図り目的を持って高校生活を送れるようにする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・週課題や長期休業中の課題の取り組み状況が悪い者に対して、やり直しや居残りなど最後まできちんと取り組ませる指導を各教科で実施した。</li> <li>・キャリア教育の一環としてキャリアブリッジやキャリアインタビューを実施し、大学だけでなく、社会で働く意義と大切さを身をもって経験できたのは、大変効果があった。また、その成果をパワーポイント等で発表させることで、多くの生徒に還元できたことも効果があったように感じる。さらに総合的探究の時間でパラグアイという国を紹介してもらい、国際理解や環境問題、人権問題と幅広く学習ができ、生徒たちの視野が広がったように感じた。</li> </ul> |
| (第2学年)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識と社会性の伸張</li> <li>・学習習慣の確立と基礎学力の定着</li> <li>・キャリア教育、進路指導による目的意識の育成</li> <li>・自主的・自律的な態度の育成</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい制服着用や挨拶を意識するよう日々の学校生活の中で指導する。</li> <li>・英数国の教科担任から週課題を課し、教科担任、クラス担任、学年が連携することで、生徒の状況を把握し、取組の改善を促す。</li> <li>・LT、総合学習、学年集会、面接、模試などを通して進路に対する意識付けを図り、目的を持って高校生活を送れるようにする。</li> <li>・学校行事において、生徒が自主的・自律的に活動できるよう助言する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の女子生徒がスカートを折り曲げたり色つきリップを塗っている実情があるが、概ねの生徒は制服を正しく着用し、挨拶を励行している。引き続き、日常の生活指導を大切に、粘り強く指導していく。</li> <li>・1年を通して週課題と小テストを課すことができた。クラス担任と教科担任が連携して生徒の状況を把握し、取り組みの改善をすることができた。</li> <li>・総合的な学習の時間、学年集会、面接、模試などを通して進路に対する動機付けをはかることができた。今後はより具体的な進路目標が掲げられるように指導していく。</li> </ul>                        |
| (第3学年)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部と連携し、生徒が進路実現できるように指導する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活全般を通して、進路意識を高める。</li> <li>・進路指導部、担任団が情報を共有し進路指導を進める。</li> <li>・進路指導部と連携して、生徒・保護者に進路情報を提供し、系統的指導を継続する。</li> <li>・学習環境の整備を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部と連携し、生徒に進路情報を提供することで生徒の進路意識を高めることができた。また、学習方法に関する情報を提供することで進路実現のための取組を円滑にすることができた。自習室はよく活用され、その他の場所での生徒の居残り学習も目立った。</li> <li>・進路が早い段階で決まった生徒が学習の雰囲気乱すことがあった。このような生徒に対していかに動機づけさせて、学習に向かわせるかが課題である。</li> </ul>   |
| 学校運営 (教頭) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間労働による健康障害の防止</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務時間を適切に管理する。</li> <li>・メンタルヘルスの保持に努める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・月 80 時間の超過勤務者を皆無にすることはできなかった。</li> <li>・衛生委員会を活用して職場環境の向上を図った。</li> </ul>  |
| 総合評価      | <p>各分掌、各学年の主体的かつ相互補完的な取組が多くあった。特に今年度は県立高等学校教育課題研究に係る研究指定校として「主体的対話的で深い学び」に向けた授業改善に全校的に取り組んだ。各学年、各教科で創意工夫した取組があり、教職員どうしが学び合う姿が随所に見られた。新学習指導要領実施に向けて適切なカリキュラムマネジメントを行い、さらなる授業改善を進めていくことが課題である。</p> |  |  |

